

## 公的研究費不正使用防止計画

サラヤ株式会社では、公的研究費の不正使用の防止に厳正かつ適切に対応するため、次の通り不正使用防止計画を策定し、この不正使用防止計画に基づく業務の推進と管理を行うものとします。

不正発生要因	不正使用防止計画
<b>1. 責任体系の明確化</b>	
責任者の役割や責任の所在・範囲の不明確さによる組織としての管理機能の低下	公的研究費の運営・管理について、責任者の役割、責任の所在と範囲および権限を定め、ホームページにて研究所内外に公表し周知する。
<b>2. 適正な運営・管理の基盤となる環境の整備</b>	
公的研究費の使用ルールと実態の乖離	公的研究費の運用実態を把握し、乖離がある場合にはその原因を把握し、必要に応じて対策を図る。
決裁手続が複雑で責任の所在が不透明	公的研究費の運用・管理に係る相談窓口を設置し、職員等に周知する。
公的研究費に対する事務手続き等に対するモラルの低下	e-ラーニング等によるコンプライアンス教育を実施することにより、公的研究費の適正執行に関する意識向上を図る。
	公的研究費による研究の運営・管理に関わる研究者等から、誓約書の提出を求める。
	告発等の取扱、調査及び懲戒に関する規程を整備し、運用の透明化を図る。
<b>3. 研究費の適正な運営・管理活動</b>	
物品等調達における研究員と関係業者との癒着	研究者等からの不正行為等を働きかける危険性を払拭するため、業者に対し働きかけがあった場合は、通報窓口へ通報するよう周知する。
	業者に対し、不正な契約を行わないよう周知し、誓約書の提出を求める。
不正な取引に関与した業者に対する処分方針を定めていない	取引停止等の処分方針を定め、業者に対し周知徹底する。
検収の形骸化	公的研究費にて取得した物品等の管理を確実に実施する。 社内ルールに準拠した形で、運用・管理を徹底する。
旅費・謝金等に関する書類の不備	
研究員の勤務管理機能の低下	
<b>4. 情報発信・共有化の推進</b>	
公的研究費の制度等に関する情報伝達の不足	公的研究費に関わる研究者等間でのコミュニケーションの促進を図り、意思疎通を高める。
公的研究費の不正に関する通報制度の形骸化	公的研究費に係る不正行為等の通報に対応するための通報窓口について、研究所内外に公表して周知する。
<b>5. モニタリング</b>	
モニタリングの形骸化	内部監査部門にて、公的研究費の管理体制の検証を行う。
	内部監査部門は防止計画推進部署との連携を強化した上で、不正が発生するリスクに対し重点的にサンプルを抽出する監査を実施する。
	内部監査の内容・手順等を、定期的に見直しを行う。

備考1 : 不正使用防止計画は、モニタリングの結果やリスクが顕在化したケースの状況等を活用し、定期的に見直しを行う。

備考2 : 防止計画推進部署は、不正使用防止計画の実施状況を確認する。